
トリカゴ

要徹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

トリカゴ

【著者名】

要徹

ZZマーク
Z8066

【あらすじ】

「現実とは、実に夢の溢れた世界ではないか。 もっとも、現実といつも空へ羽ばたくことができればのお話だがね」

鳥籠の中で、彼はきこきこと騒ぎ立てる。

所詮は小さな鳥籠の中からすら脱することもできない、些末な存在のくせに、声だけを張り上げ、餌を撒き散らして、『飛ぶ』ことのできない場所で羽ばたき続けている。彼は籠の扉を必死に開けようとするが、少し動いてはまた閉まり、さつきよりも大きく開いたかと思えば、また閉じてしまう。毎日、毎日その繰り返しが成される。いつになつたら、彼はあるの鳥籠の中から脱することができるのだろうか。そんなことを考えながら私は、那些末な存在の将来を案じつつ、見つめ続けた。

小さく、細い体で必死にそこから出み出す姿は、ほろりと涙を誘う健気なもので、見ているこちらの胸が締め付けられるような感覚に陥る。しかし、私が力を貸すことなんてできないのだ。

毎日、毎日、飽きることなく耳障りな音をかき鳴らし、生きよつ、自由を手に入れようと必死になつてている。私は彼の、そういうところに生命の神祕と意地とそして執着を見出した。なんだ、こいつも私と同じなんぢやないか。

私は、この存在を小さな、取るに足らない存在だと勘違いしていた。けれども、そうではなかつた。私の小さな脳でも理解できるほど、大きな存在だつた。彼は、この外に大きな世界が広がつていることを知つてゐるのだ。けれども、出ることはできない。そのジレンマに喘いでいるのだ。

それに気づいた時、私は彼をとても愛しく思い始めた。心の中で頑張れ、あともう少しで扉を開けることができる、そして自由を君は手にするんだ、と思い、息をのんで彼を見守り続けた。

だが、それは叶わなかつた。

今日、彼は死んだ。閉鎖された空間の中で、冬の厳しい寒さに抱擁されていた。その抱擁は死をもたらし、彼の生きた証をどんどん

と奪つていった。彼は、その小さな鳥籠の中で一生を終えたのだ。
自由を手にすることも、あの果てしなく広がる空に羽ばたくことも
できず、そして、雄大に生きることも叶わず。

彼は死んだが、私は悲しくなかつた。

私に感情はなかつた。

彼を省みてやる余裕なんて、どこにも存在しない。

私は今日、鳥籠から抜け出すために羽ばたき始めた。

あの愚かしい人間のよつな一生をおくらないために。

(後書き)

引きこもつや、一ート(Not in Employment, Education or Training)の人たちが、今や社会問題です。

小さな、小さな鳥籠にこもりつきりで、彼らは雄大な外の世界を知りはしないのでしょうか。そう、あなたの家で飼っているやもしれぬ、小鳥のようなものです。

いや、小鳥とは違いますね。

彼らは、いつでも籠の外に出ることができるのです。

小鳥たちとは違い、自ら籠の中に閉じこもつているのです。

まあ、彼らがそれで幸せだというのなら、何も言いません。

彼らにも、彼らなりの、鳥籠の中での自由があるのですから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8066/>

トリカゴ

2010年10月11日21時33分発行